

令和3年9月21日

新潟県立新津工業高等学校

同窓会評議委員 各位

新潟県立新津工業高等学校

同窓会長 川内 勝

令和3年度の評議委員会・総会について（書面開催案内）

秋晴の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会活動に格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は令和3年度になっても収まる気配がなく、一般社会のイベントは悉く自粛に追い込まれています。東京オリンピック開催は安心の雰囲気を広げましたが、隔離された空間の出来事につき一般社会とは別次元の扱いです。また、コロナ動静を新潟県に当てはめると、感染者数は関東に比べ格段に少なく安全とも言えるのですが、行政の指導は依然引締対応につき、そこから離脱するわけにはいきません。

こうした事情のなか令和3年度の社会情勢を見通すと、依然 総会を開催できる状況にないと判断しております。7月末日時点で同窓会幹事様の方々から評議委員会および総会の開催を見送る旨了承して頂き、今回、評議委員様に書面総会の形式で資料を配布させて頂きました。つきましては下記の要領にてご意見を頂戴し、必要により回答を提示していきますので宜しくお願い致します。

記

1. 配布資料 「令和3年度 第55回同窓会定期総会資料」

2. 意見がある場合の意見送付先

送付方法 文書またはメール・FAXにて通知してください
書式は問いません

送付住所 〒956-0861 新潟市秋葉区北上1丁目10-17

氏名 川内 勝 宛て

緊急連絡先 携帯 TEL 090-4917-1123

FAX 0250-47-8028

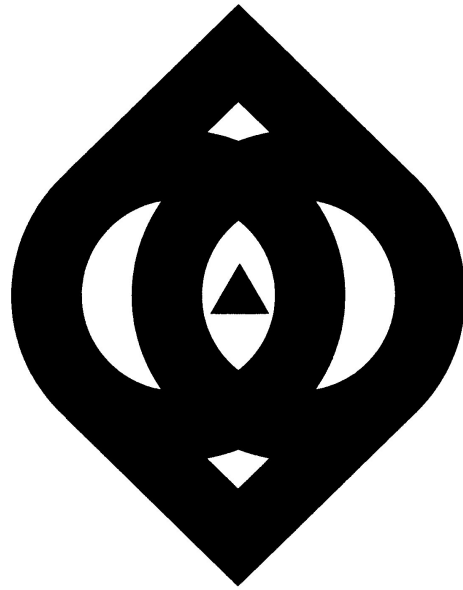
eメール kawa3@poplar.ocn.ne.jp

3. 意見送付期限 令和3年12月末日迄受付

※ 締切り後、回答書として報告致します

令和3年度

第55回 同窓会總會



新潟県立新津工業高等学校同窓会

【日 時】令和3年10月期

【会 場】書面總會にて該当なし

〈 第55回 同窓会総会 次第 〉

- (1) 開 会 (進行：) ----- 形式のみ
- (2) 同窓会長挨拶 (川内同窓会長) ----- 【3 頁】に記載
- (3) 議長選出 (議長：) ----- 形式のみ
- (4) 議 事
- ・第1号議案 令和2年度活動報告、決算報告、会計監査報告 ---- 【4～6 頁】
 - ・第2号議案 令和3年度活動計画(案)、予算(案) ----- 【7～8 頁】
- ※今回は「報告」と「計画」の2本の集約しました
- (5) その他 ----- 【9 頁】に記載
- ※各種活動の経緯や経過説明を記述してあります
- (6) 議長退任 ----- 形式のみ
- (7) 閉 会 ----- 形式のみ

添付資料

- 添付1 「令和3年度同窓会役員名簿」
- 添付2 「新潟県立新津工業高等学校同窓会会則」
- 添付3 「新潟県立新津工業高等学校 同窓会報(第55号)」
- 添付4 「ひこばえ：令和3年分」(0301号)(0302号)(0303号)

【 (2)同窓会長挨拶 】

同窓会の皆様におかれましては益々のご活躍の事とお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症の猛威は令和3年度まで持ち越し、更には、ある報道で収束するためにと複数年が見込まれるともありました。こうした暗い事情もあり、今年度の総会も昨年に続き 書面開催という形態を取らせて頂きましたので、どうぞご理解を頂きたく宜しくお願い致します。

先日、学校長と会話する機会が常あり、母校創立60周年を迎えるに際し同窓会としての考え方を説明しておきました。学校側が周年行事を実施するのであれば協力できるものは支援していく旨を伝え、しかし、その後3年後に同窓会が創立60周年を迎えるので、その際は同窓会をあげての周年行事はしないと説明しました。学校側も周年の節目60という数字の捉え方を整理して対応していくものと思います。

昨年実施した生徒の施設見学引率について、今年度は日本建築科生徒を対象にしてほしい旨依頼があります。我々卒業生は在校当時に日本建築科がなく、縁遠い分野であると先入観がありました。同じ母校で就学する同志として施設見学の引率を準備中していくことにしました。施設見学のテーマはこれで全学科と繋がりをもつことができそうです。

同窓会活動については基本的に従来の流れを踏襲しながら、近年の活動内容に大きく変えるところはありません。可能な範囲での母校支援をモットーに！で進めていきたいと考えています。

以上、総会に見立てての会長挨拶としました。今後も新津工業高等学校同窓会の運営にご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします

第1号議案

令和2年度活動報告

令和2年	4月 7日	母校（第58回）入学式
	9月10日	同窓会報第54号発行
	9月15日	幹事書面会議
	10月 6日	第7回ゴルフ大会（新工経営者懇話会主催） ※次年度より同窓会として案内は行いません
	10月	第54回総会（書面総会） ※書面総会ですが開催数にカウントしてあります
	12月 1日	生徒の施設見学引率① （万願寺浄水場、新津変電所、県立植物園）
	12月 8日	生徒の施設見学引率② （東部太陽光発電所、サカタ製作所）
令和3年	2月26日	同窓会入会式
	3月 2日	第55回卒業式 （コロナ禍にて来賓要請しない旨連絡あり、PTA・同窓会出席なし）
	3月31日	校長・教頭が転勤のため慰労挨拶、花束贈呈

令和2年度 新津工業高等学校同窓会 会計決算書

収入の部

項目	予算	決算	比較	備考
繰越金	23,529	23,529	0	繰越金
新入会費	767,120	767,120	0	6,000×128人+手数料-880
広告収入他	70,345	90,009	19,664	寄付、利息ほか
計	860,994	880,658	19,664	

支出の部

項目	予算	決算	比較	備考
事務費	65,000	77,678	-12,678	事務用品、コピー代、ホームページ設備
会議費	10,000	0	10,000	
通信費	70,000	39,538	30,462	会報等送料、切手代
会報印刷費	55,000	54,450	550	会報印刷代
新入会員記念品代	137,000	120,560	16,440	印鑑 ケース付 137本 x 880
表彰・記念品	100,000	77,000	23,000	資格・技能取得奨励 図書券@5,000×14名 賞状プリント7,000
同窓会資金	400,000	500,000	-100,000	
総会費	10,000	0	10,000	
予備費	13,994	5,500	8,494	石黒校長転任送別花束贈呈
計	860,994	874,726	-13,732	

差し引き 880,658 - 874,726 = 5,932 円 次年度繰越

令和2年度 新津工業高等学校同窓会 特別会計決算書

項目	金額	積立金額	備考
平成27年度末積立金	2,450,470	500,301	積立金+利息
平成28年度末積立金	2,750,498	300,028	積立金+利息
平成29年度末積立金	3,340,521	590,023	積立金+利息
平成30年度末積立金	3,940,547	600,026	積立金+利息
令和元年度末積立金	4,440,596	500,049	積立金+利息
令和2年度末積立金	4,940,614	500,018	積立金+利息

令和2年度会計監査報告

会則に基づく会計監査を、令和3年4月27日に行いましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1 収支報告	総収入額	880,658 円
	総支出額	874,726 円
	残 額	5,932 円
2 同窓会資金		4,940,614 円

3 帳簿についても審査しましたが、各項目別に詳細に記載され、受領証等もよく整理されており正当と認めます。

新潟県立新津工業高等学校同窓会

会 長 川 内 勝 様

令和3年4月27日

会計監査委員 藤原 繁 

会計監査委員 五十嵐 宏明 

第2号議案

令和3年度 活動計画（案）

令和3年	4月 7日	母校（第58回）入学式	※入学式の場合、同窓会には出席要請ありませんが、コロナ禍にて前期卒業式を縮小したため、入学式に出席要請あり （出席：後援会長、同窓会長）
	4月16日	学校挨拶	※新校長・新教頭に挨拶として学校訪問しました （訪問者：会長、副会長、会計）
	4月16日	三役会議	※学校挨拶の後、会議室を借りて今年度活動の進め方を協議しました（主にコロナ禍における対応）
	7月15日	同窓会報第55号発行	
	7月 末	役員会（幹事各位に書面開催）	※コロナ禍にて総会開催が厳しい旨了承してもらう
	10月	第55回総会（書面総会）	※本資料を評議委員に送付、意見収集
	11月～12月	生徒の施設見学引率	※令和3年度も前年同様に学校行事が縮小されています。 今回は日本建築科の生徒を引率してほしいと依頼があり 現在調整中。
令和4年	2月28日	同窓会入会式	
	3月 3日	第56回卒業式	

令和3年度 新津工業高等学校同窓会 会計予算書（案）

収入の部

項目	予算	前年度予算	比較	備考
繰越金	5,932	23,529	-17,597	繰越金
新入会費	821,120	767,120	54,000	6,000×137人+手数料-880
広告収入他	72,948	70,345	2,603	広告費・利息ほか
計	900,000	860,994	39,006	

支出の部

項目	予算	前年度予算	比較	備考
事務費	70,000	65,000	5,000	事務用品、コピー代、ホームページ設備
会議費	10,000	10,000	0	会議補助金
通信費	70,000	70,000	0	会報等送料、切手代
会報印刷費	55,000	55,000	0	会報印刷代
新入会員記念品代	137,000	137,000	0	137名分
表彰・記念品	100,000	100,000	0	図書券 5,000×20名
同窓会資金	400,000	400,000	0	
総会費	10,000	10,000	0	総会補助費
予備費	48,000	13,994	34,006	
計	900,000	860,994	39,006	

令和3年度 新津工業高等学校同窓会 特別会計予算書（案）

収入の部

項目	金額	積立金額	備考
平成29年度末積立金	3,340,521	590,023	積立金+利息
平成30年度末積立金	3,940,547	600,026	積立金+利息
令和元年度末積立金	4,440,596	500,049	積立金+利息
令和2年度末積立金	4,940,614	500,018	積立金+利息
令和3年度末積立金	5,340,614	400,000	積立金

【(5) その他】

- ① 4月期の職員移動は校長と教頭の同時転入となりました。それを受け、同窓会からは会長・副会長・会計の三役で学校挨拶に出向きました（4/16訪問）。

新任の住吉校長は3年前まで新津工業高校の教頭として勤務していましたので本校の事情に明るく、笠原教頭は秋葉区在住ですので地元の土地勘は十分です。両首脳共に転勤区分の扱いが“新任”という事で、実際は母校事情を熟知していましたので一安心です。

同窓会と並ぶ組織に「後援会」や「PTA」があります。特に「後援会」は同窓会活動と重複するケースが多く、今後の相互交流の機会を見据えています。何分コロナ禍にて現在は行動不自由がありますが、追々機会を見つけていきます。

- ② 55号の同窓会報を7月15日付けで発刊いたしました。

印刷部数は1100部。その内訳として、卒業後3年までは従来から会報を送付していただいたので500部を割り当て、学校および在校生徒に500部、同窓会役員分100部を加味して1100部を外注印刷しました。

従来から卒業時点で会報送付先や同窓会名簿維持のため、連絡先住所を明示してもらいましたが、近年は個人情報保護法に倣って住所明示を拒否する保護者・生徒も見られます。その場合は会報の発送を控えておりますので、こうした希なケースもあることをここで記しておきます。

会報発刊後は同窓会ホームページにアップしております。紙面とホームページの広報スタイルは当面続くと思いますが、近年の情報化社会は進展が早いため、随時広報活動へアドバイスがありましたらコメントをお願いします

- ③ 学校より要請があり、昨年施設見学を受けて今年度は日本建築科生徒を施設見学に引率に引き連れてほしい旨の連絡でした。設計に興味のある生徒らしく、古民家の構造や成り立ちを研究しているようです（5名が希望している模様）。

思案した結果、今回は新工経営者懇話会からの協力を仰ぎ、建築分野でのアドバイスが可能なOBも引率に加わってもらい準備を進めていきます。

【添付1】

令和3年度同窓会役員名簿

1	会長	川内 勝	(13E)	13 回電気科
2	副会長	山田 秀樹	(12e)	12 回電子科
3	副会長	佐藤 仁是	(13E)	13 回電気科
4	副会長	石黒 利幸	(14e)	14 回電子科
5	幹事	阿部 英司	(6M)	6 回機械科
6	幹事	吉沢 和久	(13M)	13 回機械科
7	幹事	堀田 宏	(20e)	20 回電子科
8	幹事	坂爪 裕介	(29E)	29 回電気科
9	会計	大野 和也	(15M)	15 回機械科
10	会計監査	藤原 繁	(5e)	12 回電子科
11	会計監査	五十嵐 宏明	(31S)	31 回機械システム科
12	評議員	笠原 由博	(1E)	1 回電気科
13	評議員	田辺 篤	(3E)	3 回電気科
14	評議員	楯 富雄	(3M)	3 回機械科
15	評議員	谷内田 秋雄	(3e)	3 回電子科
16	評議員	長谷川 貢	(5M)	5 回機械科
17	評議員	笠原 悦雄	(6M)	6 回電気科
19	評議員	島倉 弘	(6E)	6 回電気科
20	評議員	田中 重之	(8e)	8 回電子科
21	評議員	土田 勝男	(6E)	9 回電気科
22	評議員	関口 敬三	(10M)	10 回機械科
23	評議員	南場 恭夫	(11M)	11 回機械科
24	評議員	五十田 規	(17E)	17 回電気科
25	評議員	斉藤 靖	(20e)	20 回電子科
26	評議員	加藤 知巳見	(20M)	20 回機械科
27	評議員	石井 英夫	(28e)	28 回電子科
28	顧問	小柳 新一	(1E)	1 回電気科
29	顧問	岡村 茂	(1M)	1 回機械科
30	顧問	高塚 則明	(8e)	8 回電子科

【添付2】

新潟県立新津工業高等学校同窓会会則

【第1章】 総 則

第1条 本会は新津工業高等学校同窓会と称し、事務局を新津工業高等学校内に置く。

第2条 本会は会員相互の親睦を計り、母校の発展に貢献することを目的とする。

第3条 本会会員は下記によるものとする。

- ・正会員／母校の卒業生
- ・特別会員／母校の職員ならびに旧職員

【第2章】 役 員

第4条 本会に次の役員を置く。

会 長	1名	評議員会で推薦、総会で承認を受ける。
副 会 長	若干名	会長が推薦、評議員会で承認を受ける。
幹 事	若干名	会員中より会長が委嘱する。
会 計	1名	評議員会で推薦、総会で承認を受ける。
会 計 監 査	2名	会員中より選出する。

第5条 役員任期は2カ年とする。但し再任を妨げない。

【第3章】 職 別 及 び 機 関

第6条 会長は本会を代表し、一切の会務を総理。必要に応じて評議員会・総会を開催する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時は会長の任務を代行する。
- 3 幹事は会長の指示に従い、必要とする事務全般を行う。
- 4 会計は本会の会計事務全般を行う。
- 5 会計監査員は会計を監査する。

第7条 本会には審議機関として評議員会を置き、役員と評議員で構成する。

2 評議員は若干名とし、会員中より会長が推薦、評議員会で承認を受ける。

3 評議員会は、本会運営に関する総会議案等を審議する。

第8条 本会の最高議決機関は総会とし毎年1回これを開く。但し、評議員会の要望により必要に応じて臨時総会を開くことができる。

2 総会では、会則改正・会務・会計など評議員会から提出されたものを審議する。

第9条 本会には顧問をおくことができる。顧問は、本会の発展に貢献した者を評議員会で推薦し会長が委嘱する。顧問は会長の諮問に応ずる。

第10条 本会員10名以上居住する地区、または職場に支部を設置することができる。

【第4章】 会 計 事 務

第11条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日とする。

第12条 本会の経費は正会員の会費及び寄付金で充当する。

第13条 本会の会費は入会金及び特別会費とし、入会金は卒業時に一括納入する。

【第5章】 附 則

第14条 本会則は昭和41年3月7日より施行する。

昭和45年8月15日改正

昭和56年11月8日改正

昭和61年12月7日改正

平成元年11月12日改正

平成7年11月12日改正

平成15年10月25日改正

平成18年11月11日改正

平成23年7月16日改正

平成25年6月8日改正